

CMIC REPORT 2018

証券コード：2309 東証一部

CEO MESSAGE

株主の皆様へ

新たな経営体制の下、グローバル経営の加速により更なる成長を目指します

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、医療・医薬品業界を取り巻く環境が大きく変化し、製薬企業はビジネスモデルの転換やイノベーションの推進が求められています。当社グループは、この変革期における医療・医薬品産業において、2014年10月から持続的な成長を実現するための取組み「Project Phoenix」を進めております。

2018年4月にグループ経営のトップマネジメント体制と機能を変更し、大石(中村)圭子がCOOに就任いたしました。今後更に海外事業を本格展開するため、海外事業の経験豊富な人材をCOOに配置することで、グローバル経営の加速に踏み出します。また、ヘルスケア分野での新たな価値創出を目指し、Project Phoenix 3.0として「Healthcare Revolution」に向けた挑戦を開始しました。

新たな経営体制の下、グループ役員一同、力を合わせて更なる飛躍を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

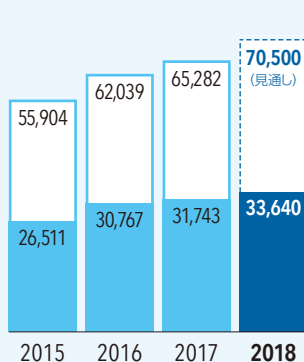


代表取締役
会長執行役員 CEO
中村 和男

2018年9月期 上期業績および通期見通し

売上高

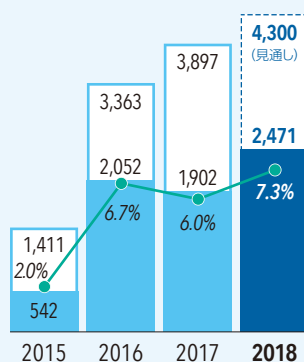
□ 通期 ■ 上期 (百万円)



営業利益

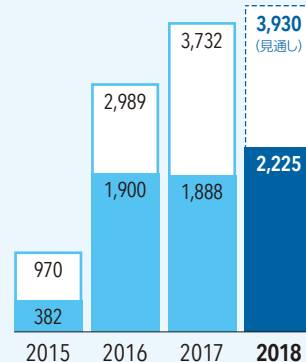
□ 通期 ■ 上期 (百万円)

● 営業利益率(上期)



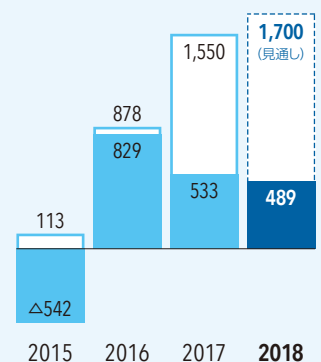
経常利益

□ 通期 ■ 上期 (百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

□ 通期 ■ 上期 (百万円)



CHD新社長ご挨拶

グローバル化を加速し、PVCモデルを拡大します

この度、2018年4月1日付で代表取締役社長 COOに就任いたしました。就任にあたり、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

入社して20年以上、シミックの成長とともに歩んでまいりました。シミックはCROとして出発し、アジアを中心に積極的な海外展開を進め、海外子会社13社を含む26社で構成されるグループとなりました。

今、日本だけでなく世界のヘルスケア産業が大きな変化を迎えています。グローバル試験の増加や異業種からの参入、試験の高度複雑化など、シミックに求められるサービスや資質も変わりつつあります。変化の激しいヘルスケア産業においてシミックが更に成長し続けるためには、「グローバル化の更なる加速」と「グローバル化に向けた次世代の人財育成」が喫緊の課題であると考えています。私は日本を含むアジア地域での地盤と経験をいかし、日本に参入していない海外CROとの協業、国際共同治験の強化、更には大きな医薬品市場であり多くの新薬が創出されるアメリカの事業展開についても検討し、グローバル化を加速していきます。

グローバル化に向けては、次世代の人財育成が鍵になると申し上げましたが、シミックでは、「グローバル」と「ダイバーシティ&インクルージョン」をキーワードに、人財を育成しています。ローカルに根ざしながらも、場所や環境にとらわれずに、グローバルレベルのパフォーマンスを発揮できるようなグローバル人財の育成を通じて、グループ全体のグローバル化を加速します。また、年齢や性別、文化的背景を問わず、多様な人財を受け入れる文化を醸成し、組織の枠にとられない、常にフラットな議論が交わされるような弾力性のある組織を目指します。

PVCモデルの提供を通じ持続的な成長を実現

シミックはこれまで、お客様のニーズを迅速に捉え、柔軟に対応することで成長してきました。シミックの新しいビジネスモデルは「サービス」プロバイダーから「ソリューション」プロバイダーへ、更にはPVC (Pharmaceutical Value Creator) やIPM (Innovative Pharma Model) のような「バリュー」を提供するビジネスに確実に進化を遂げて来ています。これからも、お客様の潜在的なニーズにお応えできるようアプローチしていきたいと考えています。

今後も、当社グループの更なる成長の実現と、企業価値の向上に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 COO

大石(中村) 圭子

PROFILE

東京大学理学系大学院植物学教室修士課程修了。日経マグロウヒル社(現日経BP社)に入社し、日経バイオテックのスタッフエディターを勤めた後、米国バイオテック企業(Genzyme社、Genentech社)の日本支社に勤務。1996年1月、シミック株式会社(現シミックホールディングス株式会社)に入社。海外企業での豊富な経験を通じ、グローバル化推進を担当。2016年10月、シミックホールディングス株式会社代表取締役副社長執行役員CRO事業CEO、国際事業推進本部長を経て、現職に就任。

PVC機能を活用したソリューションビジネス

ジャパンビジネスソリューション

日本に基盤がない製薬・
バイオベンチャーの日本市場参入支援

異業種参入ビジネスソリューション

異業種企業の製薬業界への新規参入支援

アカデミアソリューション

アカデミア発の革新的医薬品創出支援

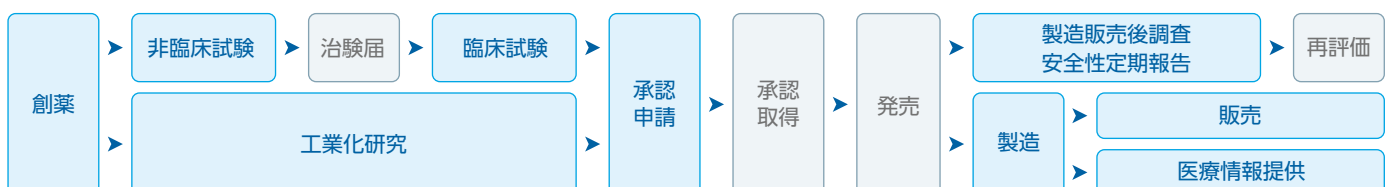
事業モデル転換ソリューション

製薬企業の戦略転換サポート支援

ワンストップソリューション

製薬企業のプロセス効率化支援

製薬企業のバリューチェーンを総合的に支援



※ PVC: Pharmaceutical Value Creator 医薬品の開発、製造や営業、マーケティングなど製薬企業のバリューチェーンすべてを支援できるような、グループ独自の事業モデルを指します。

Project Phoenix

更なる成長に向け、 Project Phoenix 3.0 スタート



持続的な成長を実現するためのグループ全体の取り組みである「Project Phoenix」は順調に進捗しています。2014年10月から開始した「Project Phoenix 1.0」において企業理念(CMIC'S CREED)の制定と赤字事業の解消・コスト構造改革に道筋をつけ、2016年4月からは「Project Phoenix 2.0」としてアジャイル経営システムの構築とPVC機能を活用したソリューション促進、IPMのプラットフォーム提供を開始しました。

2018年4月には、グループ経営のトップマネジメント体制と機能を変更し、新たな経営体制の下、グローバル対応を推進するとともに、Project Phoenix 3.0「Healthcare Revolution」へ向けて挑戦してまいります。

Project
Phoenix
1.0

- 企業文化の確立 (CMIC'S CREED)
- 赤字事業の解消、コスト構造の改革

Project
Phoenix
2.0

- アジャイル経営システム構築
- PVC機能を活用した新たなソリューション「IPM」の提供
- CEO・COO体制へ

Project
Phoenix
3.0

- "Healthcare Revolution" へ向けての挑戦

TOPICS

「健康経営優良法人 ホワイト500」に認定

社員の健康管理の多様な取組みを評価され、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。

シミックは、社員一人ひとりが健康であることと、いきいきと働くことができる職場(会社)づくりが基盤であると考え、シミックグループ健康宣言を制定し、疾病予防、重症化予防、健康意識向上を重点施策としたコラボヘルスの推進に積極的に取り組んでいます。「働き方改革」「ダイバーシティ推進」のみならず、今後は、シミックならではの健康推進活動を加えて、多様な社員が活躍できる職場作りを推進してまいります。



※ 健康経営優良法人(ホワイト500)とは
経済産業省が促進する健康経営の取組みで、健康保険組合など医療保険者と連携して健康経営を実践している法人について2020年までに500社を顕彰するもの。

「Rare Disease Day 2018 in Japan」に協賛

シミックは生命や健康に携わる企業として、治療が困難な疾病や予防が可能な疾病への取組みを重視し、社会貢献活動に取り組むとともに、これまで数多くの希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)の臨床試験に携わり、4製品を自社で販売しています。

Rare Disease Day[RDD](世界希少・難治性疾患の日)は、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指す活動で、2018年には世界95カ国以上が参加し、日本でも39カ所でイベントが開催されました。

シミックはRDDに協賛するとともに、社内で患者さんの生の声を聴くセミナーを開催するなど、希少疾患に関する認識向上や寄付を通じて、社員一人ひとりの理解を深めました。シミックは今後も、希少疾患に関する活動を通じて、社会貢献活動に取り組んでいきます。



今期の取組み

先端領域(バイオ・再生医療等)の強化

シミックは、業界に先んじて再生医療分野のコンサルティングチームを立ち上げ、「再生医療のトータルソリューション」を提供するなど、高い専門性が求められるバイオや再生医療分野などの先端領域に積極的に取り組んでいます。



バイオリサーチセンター(山梨)



CMIC, INC. ラボ(アメリカ)

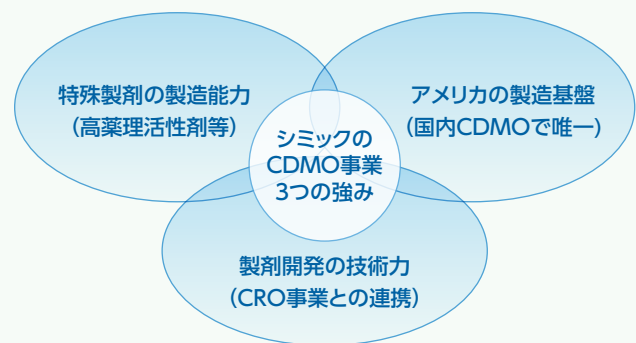


◀ 新注射剤棟(足利) 高薬理活性剤(抗がん剤など)の最新設備

- ✓ 開発コンサルティング
- ✓ メガカリオン・コンソーシアムへの参画
 - iPS細胞由来製品の非臨床試験においてバイオニアとしての優位性を確立
- ✓ 核酸医薬品の分析サービス
 - 米国ラボにおける分析支援の伸長
 - 核酸医薬において米国分析ラボでトップクラスの受託実績
- ✓ 足利新注射剤棟の竣工
 - 高薬理活性剤の生産体制整備(抗がん剤受託の強化)

CDMO(医薬品製剤開発・製造支援)事業の成長を加速

シミックの成長戦略の大きな柱であり、PVCモデルの重要な位置を占めるCDMO(医薬品製剤開発・製造支援)事業。シミックは2005年以降、他社に先駆けてグローバルな製造受託を展開し、現在では国内3拠点、アメリカ、韓国において医薬品製造のトータルソリューションを提供しています。今後ますます強まるアウトソーシングニーズに積極的に対応、更なる成長と事業拡大を目指すため、日本政策投資銀行(DBJ)と資本業務提携契約を締結するなど、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、よりよいサービスを提供していきます。



長期的には
M&Aや大型設備投資による非連続成長へ



事業別概況

各事業の主要顧客



CRO

開発支援事業

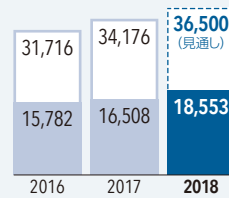
売上高比率
54.8%

医薬品開発支援、分析化学サービスや医療・製薬業界向けBPO・人材サービス

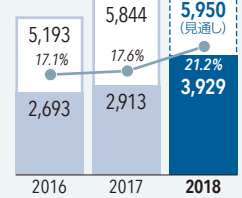
業績概況

売上高及び営業利益は、臨床業務において大型案件を受注するなど、新規受注及び既存案件が堅調に進捗したこと等により、前年同期を上回りました。抗がん剤や再生医療等製品など高度化する開発ニーズに対応するため人材育成を強化しています。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



CDMO

製造支援事業

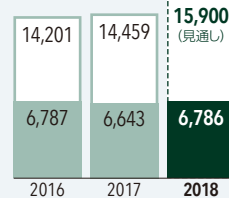
売上高比率
20.0%

製剤開発、治験薬・医薬品の受託製造

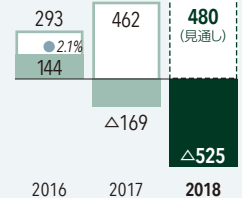
業績概況

売上高は新規の受託生産が進捗したことにより、前年同期を上回りました。米国における既存案件の一時的な生産量減少及び足利工場新注射剤棟の商用生産開始に向けた立上げ費用等により営業損失を計上しました。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



CSO

営業支援事業

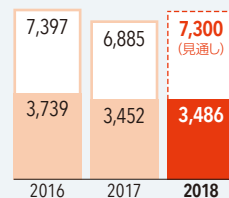
売上高比率
10.3%

医薬品などの営業・マーケティング支援

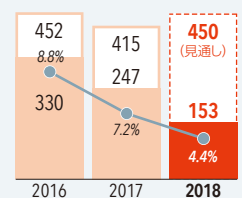
業績概況

売上高は新規に受託した大型案件が堅調に進捗し、前年同期を上回りました。営業利益は大型案件の受注に伴う先行的な採用費用の発生等により前年同期を下回りましたが、受注済の大型案件の着実な遂行に取り組んでいます。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



ヘルスケア事業

売上高比率
10.7%

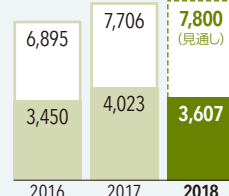
治験施設支援やヘルスケア情報サービス

業績概況

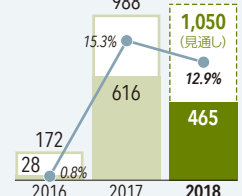
売上高及び営業利益は、SMO*業務において前年同期に取り組んでいた大型プロジェクトの減少により、前年同期を下回りました。

* SMO (Site Management Organization) 治験施設支援機関: 臨床試験を実施する医療機関から委託を受けて医療機関の治験業務を支援する企業・組織

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



IPM事業

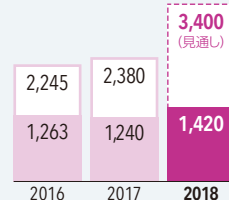
売上高比率
4.2%

新たなビジネスソリューションを提案する事業

業績概況

売上高はオーファンドラッグの販売増加等により、前年同期を上回りました。足爪用浸透補修液「ザンミーラネイル」販売にかかる費用等により営業損失を計上していますが、営業黒字化に向けた事業規模拡大に引き続き取り組んでいます。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



会社概要

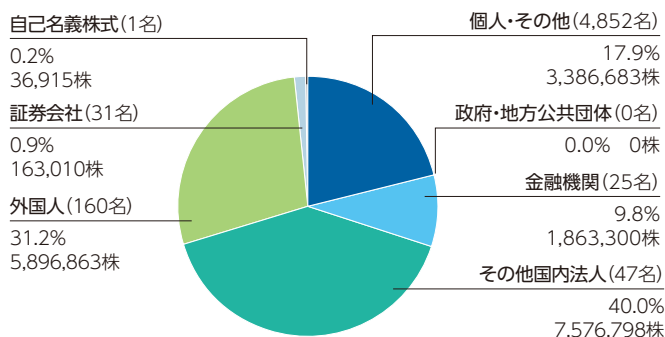
商号	シミックホールディングス株式会社		本社所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング	
設立	1985年		事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社	
資本金	3,087百万円		従業員数	6,223名(連結)(2018年3月31日現在)	
グループ会社 (連結子会社)	シミック(株) シミックPMS(株) シミック・ソフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株) シミックキャリア(株) シミックCMO(株) CMIC, INC. CMIC Korea Co., Ltd.	CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA), SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC (Suzhou) Pharmaceutical Technology Co., Ltd. CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED CMIC(Beijing)Pharmaceutical Services Co., Ltd.	CMIC(Beijing)Co., Ltd. CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミック・アッシュフィールド(株) サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) (株)オーファンパシフィック		
(関連会社)	シミックJSRバイオロジックス(株) (株)マッキャン エムディエス				

株式の状況

2018年3月31日現在

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,923,569株
株主数	5,116名

所有者別の構成比率(株式数比率)



大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	4,022,200	21.25
株式会社キースジャパン	3,509,140	18.54
THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT	740,400	3.91
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	654,700	3.46
中村和男	555,620	2.94
シミックホールディングス従業員持株会	533,299	2.82
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	497,855	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	387,600	2.05
GOVERNMENT OF NORWAY	355,000	1.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	318,800	1.68

(注)発行済株式総数に対する持株比率は、小数点以下3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	証券会社等に口座をお持ちの場合: お取引の証券会社等 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合): 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問い合わせ先	証券会社等に口座をお持ちの場合: お取引の証券会社等 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合): ☎ フリーダイヤル 0120-288-324 (土、日、祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱い場所 (住所変更、株主配当金 受け取り方法の変更等)	証券会社等に口座をお持ちの場合: お取引の証券会社等 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合): みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店* *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご注意ください。
公告方法	電子公告(https://www.cmicgroup.com/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

シミックホールディングス株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング
Tel 03-6779-8000
<https://www.cmicgroup.com/>

証券コード: 2309

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

Made in
Fukushima

この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の
印刷会社に製造を依頼し発行したものです。